



【事業所名】

株式会社アスコ

【事業概要】

業務用カット野菜製造、青果物卸売

【障害者の雇用状況】

従業員数: 124人

雇用障害者数 身体1人(うち重度1人)、知的5人(うち重度1)

【障害者が従事する業務】

身体障害者:

野菜の出荷配送作業

知的・精神障害者:

生野菜のカット作業、計量作業、計量後の袋詰め作業

【障害者雇用のきっかけや目的】

- ・営業日を年中無休としたことや、工場を移転した際に、離職者が一時的に増えたことから、人手を確保するため障害者を採用したのがきっかけ。作業手順をしっかりと教え、慣れればサポートの頻度も減るので、その後は採用の枠を広げ、職域も拡大させた。
- ・「金儲けより人の役に立つことを考え、世の中に必要とされる企業を目指す」との経営理念に基づき、事業を通して地域社会に貢献し、従業員の福祉向上を期すとの考え方で障害者の雇用も全員常用としている。

【障害者雇用で工夫されている取り組みなど】

- ・一緒に作業する健常者(支援者)への理解を求める。
- ・通常の作業指示は書類で行うが、判断できない障害者には個人的にわかりやすく作業メモを作り、毎朝本人のロッカーに貼りつける。また、管理者や周囲の作業者からも口頭で補足する。
- ・電車やバスで通勤する人は時間がずれ込むといつもの電車等に乗れないため、繁忙期であっても作業終了時刻をしっかりと守る。
- ・インフルエンザやノロウイルスなどの感染症予防や対処方法を文章で作成し、家族や保護者への通知を必要に応じ行う。
- ・勤続5年を超えるベテランであっても、自分が間違っただけだと思っていないと思い込んでいる障害者もいるため、必要に応じジョブコーチと相談しながら改善策を講じる。
- ・任されている作業が一定レベルに達したら、達成感を与える言葉をかけると同時に、次の新しい作業(課題)を与え、トライする意欲を高める。

【障害者の就労状況等】

- ・障害者は一つの仕事を成し遂げると自信がつき喜びを感じている。
- ・昼食時には、障害者も健常者も一緒に食事をしている。
- ・作業内容によっては繰り返し行うことにより、作業スピードが向上している。
- ・安全、衛生管理を強化する対策を進めた結果、職域が広がった。
- ・地域の障害者施設との連携で施設外就労を受け入れている。

【会社(社長)の声など】

アスコでは主に知的障害者を雇用していますが、与えられた仕事、特に反復作業を忠実にこなす能力に優れています。続けるうちに技量も向上しますし、複数の業務もこなせるようになります。障害者に合ったジョブを見つけ、そしてそれぞれの適性を見極めて、的確に仕事を与えることです。最初から大きな期待はできませんが、育てば必ず戦力になります。

【その他】

(株)アスコは、障害者雇用優良事業所として、平成18年度に富山県雇用開発協会会長表彰、平成24年度に富山県知事表彰、令和3年度に高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰を受賞しています。

